

# 錦上添花

錦ヶ丘中学校  
学校便り  
7月15日発行 NO.13  
文責 出崎 友英

## 私の目標やねん。

以前、プロ野球の選手が交通ルールに違反して球団から嚴重注意をうけるという出来事がありました。その選手は道路を横断しようとした時に歩行者の信号が赤だったので、その手前の横断歩道のないところを横切ったということでした。私は「厳しい処分だなあ…」と思いました。プロ野球選手にはそれだけ高い意識を求められるのだということも感じました。

以前読んだ資料に、次のような文章がありました。高校2年生の娘を持つ、あるお父さんの手記です。

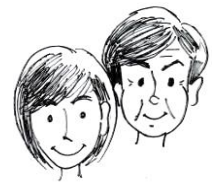
ある日、家族で食事に行った帰りのことです。遅めの夕食を済ませ、自宅まで歩いて帰る途中、信号のある交差点に差しかかりました。その交差点の歩行者信号は「赤」でしたので、私は信号が変わるのを待っていたのですが、道幅も狭く、車も全く通らなかった。渡ろうと思えば簡単に渡れます。私の家族も、信号が「青」になるのを待って渡ったのですが、その時、私の横にいた高校2年生の長女がこう言いました。「やっぱり、お父さんは信号が変わるまで渡らへんかったなあ。私の思った通り。」「ん？どういこと？」「お父さんは、人が見ても見てなくてもルールは守ると思ったから。この前も偶然見かけた時、今と同じように待った。信号に限らず何事もルールは守ってるんやと思う。そんなお父さんは、私の目標やねん。」

単身赴任で、週末に帰っても、娘との会話は小言がほとんどで、そんなことを考えていたとは全く思いませんでしたので、本当に驚きました。

確かに、キーパーソンとして所員の模範となる行動をしなければ、と意識はしていましたが、思わぬところでしかも娘に認めてもらったこの「一言」が、恥ずかしくも大変嬉しかったし、とてもやる気が出たのを覚えています。

「親の背中を見て子は育つ」と言いますが、この出来事以来、常に意識して行動するようにしています。また、率先垂範の意味についても、改めて思い知らされた出来事でした。

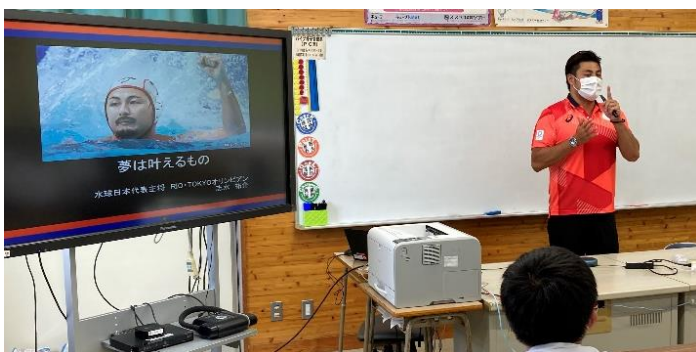
現在も、娘との関係は良好です。ただ、目標にはしてもらったようですが、理想の男性とまではいかないようです…。」



この文章を読んで、私はわが身を振り返り、そして反省しました。「赤信号で渡らない。」これはあたりまえのことです。しかし、そのあたりまえのことを、「これまで一度の例外もなくきちんとできていましたか？」と問われたら私は胸を張って「はい」と答えることはできません。人が見ていなくても、ちゃんとルールを守るお父さん。そのお父さんを「自分の目標だ」といえる娘さん。とても大切なことを教えてもらいました。

## 講演会がありました。

7月13日(水)の午後、志水祐介さんの講演会がありました。志水さんは水球日本代表として、リオデジャネイロと東京オリンピックに出場されました。夢を叶えるために努力することのすばらしさ、若い君たちには無限の可能性があること。努力した人、夢を叶えた人しか見えない景色があること等を、自分の体験を元に話していただきました。志水さんの熱い想いがひしひしと伝わり、とてもすてきな講演会でした。講演会の後は、水球部の活動に参加されて水球の指導をしていただきました。志水さん、貴重なひと時をありがとうございました。



## お知らせ・お願いです。

○7月14日(木)に「県中体連選手激励会」を行いました。先行開催された器械体操と新体操に出場した選手、これから行われる男子バスケット、男子バレー、男女バドミントン、水泳、男女柔道に出場する団体と個人の選手たちがそれぞれ今の気持ちを発表しました。一人一人の思いのこもった言葉がとても感動的でした。県大会に出場した皆さん、よくがんばりました。これから出場する選手の皆さん頑張ってください。健闘を祈っています。



○明日から3連休になります。熊本市ではコロナの感染が急拡大しています。また天気予報によれば、これから不安定な気象状況で激しい雨が降ることもあるようです。安全・安心な連休になりますように、各家庭でのご指導をよろしくお願いします。

誰も見ていない時こそ、  
本当の自分の姿だ。  
「先生のコトバ集」より